

# 「鬼怒川緊急対策プロジェクト」ハード対策 進捗状況

## ■常総市三坂地区（決壊箇所）



## ■常総市若宮戸地区（溢水箇所）

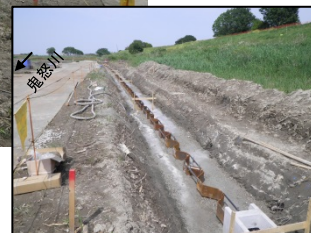


## ■漏水箇所

常総市水海道高野町地先



常総市中三坂地先



### お問い合わせ先

全般について（茨城県が行うハード対策を除く）	茨城県が行うハード対策について
国土交通省 関東地方整備局 下館河川事務所 激甚災害対策特別緊急事業推進室	茨城県 土木部 河川課 鬼怒川流域緊急対策推進室
電話：0296-25-2173 FAX：0296-25-2177	電話：029-301-4491 FAX：029-301-4499





## 4. 左岸 21.0k 付近の本復旧工法の検討

### 4.1 堤防決壊の原因への対応

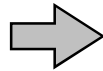
堤防決壊の原因（越水及び浸透）と本復旧での対応を表 4.1 に、また、堤防決壊による現地状況の変化と本復旧での対応を表 4.2 に示す。なお、表 4.1 及び表 4.2 に示す本復旧での対応はいずれも一般的な工法である。

表 4.1 堤防決壊の原因への対応

	堤防決壊の原因		本復旧での対応
越水	<ul style="list-style-type: none"> <li>越水により川裏側で洗掘が生じ、川裏法尻の洗掘が進行・拡大し、堤体の一部を構成する緩い砂質土（As1）が流水によって崩れ、小規模な崩壊が継続して発生し、決壊に至ったと考えられる。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画堤防までの築堤（高さの確保）を実施</li> </ul>
浸透	<ul style="list-style-type: none"> <li>越水前の浸透によるパイピングについては、堤体の一部を構成し堤内地側に連続する緩い砂質土（As1）を被覆する粘性土（Bc 及び T）の層厚によっては発生した恐れがあるため、決壊の主要因ではないものの、決壊を助長した可能性は否定できない。</li> </ul>	➔	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画堤防までの築堤（幅の確保）を実施</li> <li>透水層（砂質土）への河川水の浸透を抑制するために、鋼矢板による川表遮水工を実施</li> <li>河川水及び降雨の堤体への浸透を抑制するために、遮水シートとコンクリートブロックによる川表法面被覆工を実施</li> <li>堤体内に浸透した降雨等を堤防外に速やかに排水するため川裏法尻部にドレーン工を実施</li> </ul>

表 4.2 現地状況の変化への対応

	堤防決壊による現地状況の変化	本復旧での対応
現地 状況 の 変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決壊区間は堤体が全て流失し、基礎地盤には落掘が形成されている。</li> <li>・基礎地盤の落掘は川表高水敷から、川裏の民地部まで広範囲に及んでいる。</li> <li>・落掘の形成により凹凸となった基面では、河川側から連続する砂質土 (As2) を被覆する粘性土 (Ac1) がほとんど残っていない区間が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落掘による凹凸地盤や地形等変化点での不等沈下等を抑制するため、堤防直下の基礎地盤処理を実施</li> </ul>



#### 4.2 本復旧工法（案）

堤防決壊の原因への対応をもとに検討した本復旧工法（案）の横断模式図を図 4.1 に示す。

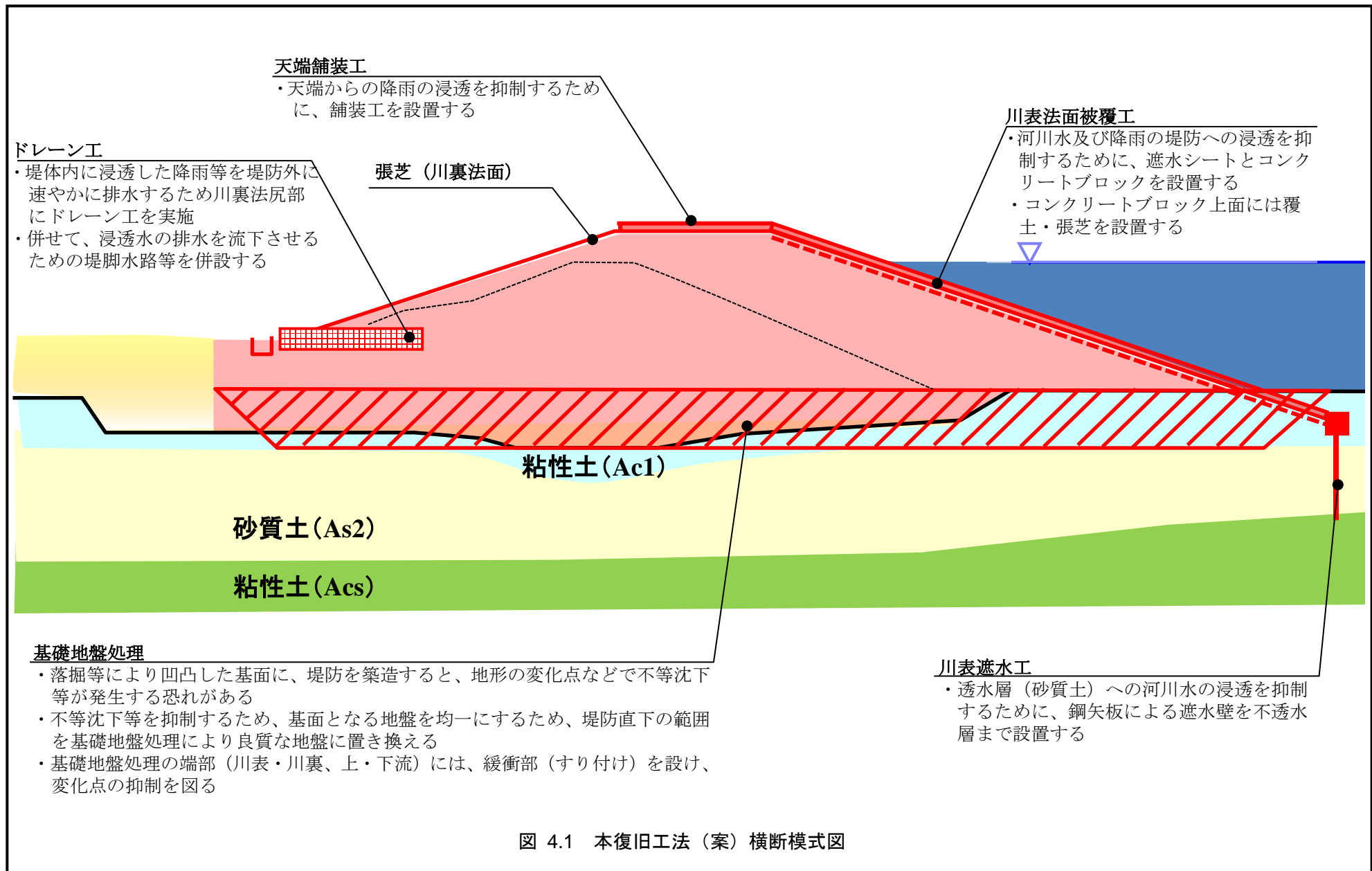


図 4.1 本復旧工法 (案) 横断模式図